



研修便り



高知市教育研究所教職員研修班
令和8年3月17日発行 No.179

「研修便り」は、高知市立学校教職員研修の成果・内容の共有、教育研究所から発信する情報の周知を目的として、発行しています。

高知市教育研究所研究員 全体公開授業

令和7年11月11日（火）実施

研究テーマ「評価シートの活用を通じた自己調整する力の育成～算数科を通して～」

高知市立旭小学校 廣瀬凌輔 研究員

研究の背景

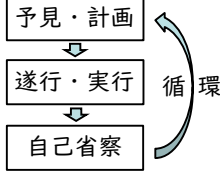
学びの転換期

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実
- 1人1台端末による学習環境の変化

現場の課題

- 依然として教師主導の一斉授業が中心
- 児童が主体的に学びを調整する機会が制限

自己調整学習に着目



Zimmerman(1990)が提唱した自己調整学習の3段階モデルから

プレ研究から

昨年度の取組

- スプレッドシートを活用し、計画・練習・テストの流れを可視化
- 学習場所や問題レベルを児童自身が選択できる機会の保障

見えてきた課題

- 自分に合った効果的な学習方法の選択が不十分
- 数学的思考や表現活動の不足

本学級の実態

- 算数言語を使う力は育ってきたが、学力差が大きい
- 一斉授業での定着のばらつき

本研究のアプローチ

評価シートを活用して個々のレベルに応じた学習計画とメタ認知（振り返り）を可視化し、自己調整しながら学ぶ力を育む

評価シートの変遷

<1学期>

改良

<2学期（本授業で使用したもの）>

児童の記述

- 授業で行った操作や計算手順をなぞるもの
「小数の掛け算はまず最初に整数に直します」
- 結果のみを書いているもの
「計算ドリルは、全問正解で間違いはありませんでした」

深い思考やメタ認知をしているとは言い難い…

評価シートの一冊上にループリックを記載し、常に確認できるようにしているんだね

「知る・できる」「考える・説明する」「いかす」ループリックを参考に、それぞれの達成度を☆の数で選択できるようにしている

「①理解度」何が分かっていないのか、自分の課題やめあてをメタ認知する

「②理解度」授業の最後に、理解度をもう一度確認し、理解度に合わせて、次回までに何をするのか、振り返りに生かすこともできる

「課題・めあて」めあて達成のために何をするのか、計画を立てる

「確認テスト」確認テストのリンクから、学習後の理解度をチェックできるようになっている

本授業の様子

これってどうやるのかな

これはね、速さが分かっているから…

いいね！ やってみよう

友達に聞きに行ってみようかな

今日はキュービナを使って学習しよう

この問題一緒にやらない？

評価シートに振り返りをしよう

確認テスト

評価シート

自分の理解度や得意・不得意に合わせて学習方法や学習形態を選択していたよ

子どもの取組を基に、先生が肯定的な評価をすることで、子どもの自己調整する力をますます伸ばしていくんだね

【参観者の感想】

自己調整をすることで子どもが主体的になり、学力差も埋められるのではないかと考えさせられました。自己調整は、いろいろな意味があると感じました。学習方法、問題の解き方、学ぶ場所、誰と学ぶかなど、選択して調整できる場面はたくさんある方が、より自己調整と言えるのではないかと思います。また、評価シートについてもカスタマイズするなど工夫を続け、きっと子どもたちにとっても使いやすいものができるのではないかと楽しみにしています。

第57回 令和7年度 高知市中学校生徒会交流会リーダー研修会

令和8年2月7日(土)

リーダー研修会は、学校生活の一層の充実を図るため、高知市内の各中学校の生徒会役員がリーダーとしての自覚をもって様々な行事や活動を企画・運営する自治力を培うことが必要であるとし、高知市中学校生徒会交流会運営委員会が中心となって昭和63年から開催されている歴史ある取組です。



全体会Ⅰ【講話】「価値を創り出す生徒会活動

～地域と世界をつなぐグローバルリーダーを目指して～

講師：高知商業高等学校生徒会執行部



【講演内容】

- 1 生徒会活動の本質
- 2 グループワーク
- 3 ラオス学校建設活動について



自分たちの学校で取り組んでいる「〇〇活動」の目的って何だろう？

〈中学生の感想〉 高知商業高校生徒会執行部のお話から、活動するときにはただやるのではなく、何のために活動するのか、誰にどうなってほしいかを考えることが大切だということ学びました。自分たちが実際に行っている活動の目的を改めて考えてみるとはっきりと言うことができなかったけれど、今回話し合ったことで取り組んでいる目的・意味が明確になり、自校の生徒会活動について深く考えることができました。

全体会Ⅱ【実践交流】「各校の魅力発信」

〔目的〕 各学校で行われている学校行事・委員会・ボランティア・地域協働等の推進で、生徒会が関わっている活動について、より一層のパワーアップを目指して情報や意見を交流する。

自校でやってみたく思っていることに取り組んでいる学校があり、実際に開催してどうだったか、どんな課題があったかなどを知ることができたので、とても勉強になりました。他校と意見交流することで自分たちの考え方が変わり、課題を見付けることもできました。このような意見交流の場があることで実りある研修会になったと思います。



同じ取組の名前であっても内容や目的が全く違っていたので、面白く感じました。自分の学校では効果が見られないことでもやり方を変えている学校では大幅な変化が見られていて、見直しが必要だと感じました。他校の話聞くことで自校に足りない部分や取り入れたいと思う活動を知ることができました。



学校名	発表内容
城北中	学校の取組とのリンクを目指して
城西中	防災フェア～城西中と地域との取組～
愛宕中	愛宕中学校生徒会活動
城東中	城東DX
潮江中	潮江中学校地域活性化計画 2025
一宮中	昨年度の生徒総会とこれからの取り組み
青柳中	学び合い学習の取り組み
朝倉中	①朝倉を盛り上げる生徒会行事 ②生徒会と盛り上げる学校行事 ③ここがすごいよ！朝倉中学校！
三里中	地域とつながるボランティア活動
南海中	①元氣あふれる！南の海の生徒たち ②南海（難解）な課題に挑め！～防災と学び合って磨く、僕らの生き抜く力～ ③生徒の「やりたい」をカタチに。～私達の委員会改革ストーリー～
西部中	西部中学校の取り組み
介良中	全校自転車通学許可に向けての生徒会執行部の取り組み
大津中	極～つながりを大切に～
旭中	旭中生徒会執行部の取り組み（あいさつ・地域・交通安全）
横浜中	ノーチャイム、ボランティア活動、校内での活動、マスコットキャラクター
鏡中	鏡地域活性化プロジェクト
春野中	生徒会活動と地域活性化の取り組み～コミュニティスクールとこうちこどもファンド～
行川学園	縦割り班で行う全校の取り組み
土佐山学舎	土佐山学と異学年交流の紹介
高知国際中	生徒同士の交流を生徒会がリードする

【高知市生徒会交流会シンボルマークに込められた思い】

寄り添う二羽の「鳩」とその周りに絡み合う「蔦の葉」が描かれており、高知市の生徒会が「学校の垣根を越えてつながり、共に手を取り合って成長する」「共に支え合いながら明るい未来を創る」という思いが込められています。

高知商業高校生徒会執行部から、生徒会役員としての心構えや発信の仕方などをご指導いただき、学び多い時間となりました。また、実践交流では、ワールドカフェ形式に挑戦し、これまで以上に生徒が積極的に話し合う姿が見られ、生徒会役員にとって成長を実感する貴重な経験になったと思います。



(近森運営委員長)

ご意見・ご感想を高知市教育研究所 教職員研修班までお寄せください。